

2023.11月

銀の汗 Again

A面

愛知県豊橋市現場



ベルヴェールハイツ



(株)HATARAKUNNの皆様



弊社名古屋支店:川出営業



名古屋駅前の顔「ナナちゃん」人形

はるか昔は、大自然に恵まれ、豊かな実りを意味する「ほの国(穂国)」と呼ばれ、現在では「おいしさイナズマ級！」のキャッチコピーでおなじみの国民的お菓子、ブラックサンダー発祥の地である愛知県豊橋市にある、ベルヴェールハイツでUN施工してきました。

新進気鋭の弊社名古屋支店の川出営業のUN猛プッシュにより実現した今回のUN圧送。
採用いただいたHATARAKUNN様はUN圧送自体初めてとのことでしたが施工スタートするや、すぐにコツをつかみ、職長を中心としたチームワークで手際よく進み、1,500㎡を1層目&2層目も4時間半の短時間施工で終わりました。「こんなの(UN)やっちゃったら、今まで手で塗ってたのは、何だったんだろうね」「次は、年末か年明けに新城(地名)で圧送あるから！」と、はやくも次の圧送の話が出るなど、ありがたいお言葉をいただきました。またの再開への期待を胸に、名古屋名物ナナちゃん人形に別れを告げブラックサンダーをかじりながら帰途につきました。



おいしさイナズマ級

稲妻レッグラリアート

(イナズマ曽根OP)

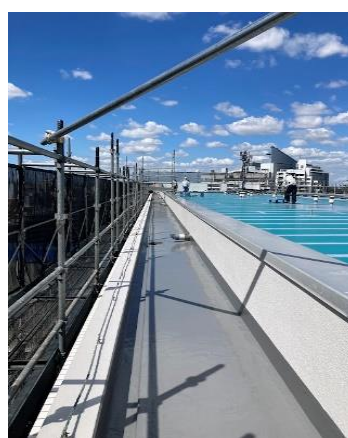
品川区西五反田現場



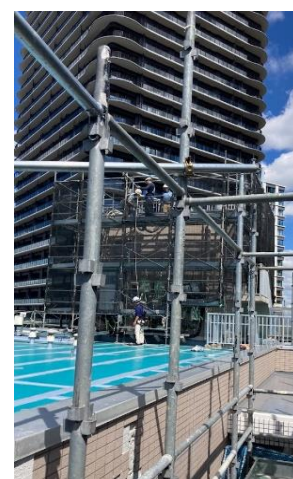
エントランス通路先にマシン設置



27ドラム使用



吹き抜け部ホース通し14階へ



ファミリー西五反田の屋上防水にUNマシンを採用していただきました。
当物件は14階建てで、1階にはディサービスのテナントが入った区民住宅でした。UNマシンの設置が困難な環境にありましたが建物のエントランス部通路にUNマシン設置可能なエリアがあり、そこに設置させていただきました。
そこから中2階までの吹き抜け部にホースを通して14階の屋上まで伸ばして施工。
通常の施工(手塗)の場合、現場状況から屋上までの荷上げは内部のエレベーターを使用し、荷上げをしなければなりません。
今回の場合、汎用缶200セット(400缶)以上の材料を荷上げをしなければなりませんUNマシンの採用でその作業が無くなりました。
内部のエレベーターを使用しなくて済むという事は、居住者様のストレスも軽減ができることとなります。
短時間で安全な施工をUNマシンで行いました。
またのご採用お待ちしております。

(松田OP)

2023.11月

銀の汗 Again

B面

スギカウ友の会展示会



展示会場



Jackery Japan

ジャクリーのポータブル電源のチラシを2022.12月作成配布し10ヶ月間で47台、約500万円の売上達成(謝) 共に企画した仕入先の杉田エース様のスギカウ友の会展示会が9/27-29日銀座で開催され、特販チームもご招待を受けました。特販チームでは年間を通じてご提案できる商材が無いが常に考えている所です。

非常食や美容家電等オモシロイ現物商材を見ることが出来ました。

そして、パワーアップした新作のジャクリーポータブル電源実物を確認し、再度打合せ、拡販に取り組みたいと考えています。(現在新チラシ作成中) また近々、ご提案を特販チームより配信させていただきます。

UNマシンを動画サイトで紹介いただきました



千葉県の雄、化研マテリアルグループ販売店の株式会社シービーエム様は、WEB関連にも力を入れ自社HPに各種最新動画のアップなど情報発信強化No1の日本一の販売店といっても過言ではない活動をされています。

2023.6月にはUNマシンの勉強会開催があり(銀47号) 営業:工藤さん中心に企画いただきました。(謝) その模様も社内で動画作成されていましたがこの度、2023.9月に、UN現場施工された模様を動画におさめて、自社のHPにアップされました。

(株)シービーエム様HPアドレス下記(Yahoo!「CBM・防水」で検索) www.cbm-inc.biz



動画の最初は女性社員3名(仮称:白鳥クラブ)が「UNマシン、ダーツ」のような力を込めたご案内をいただき誠に感謝申し上げます。

コンパクトにまとめられた動画にUNマシンのエッセンスが凝縮していました。

我々UNチームもパワー!全開で「全国制覇」に進んでまいります。



UNマシン.COMサイトが起ちあがりまして ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています 銀の汗バックナンバーも掲載

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など) UNマシン にて検索

【sweat of silver】

はるか昔、小学6年生の夏休み、1局10円で近所の友達と100局程将棋を指し、約55勝45敗で100円程儲けました。

「あはや〜ここに銀打れば俺の負けやったのに〜」「えーちくしょう・・・」

当初10局までは劣勢で負け越していましたが、本屋でひそかに将棋の本を買い、棒銀戦法など懸命に覚え実践で試すなど、段々と勝ちが多くなりました。友達もひそかに本を買い、こちらの知らない振り飛車戦法などで、また盛り返されたりしてヘボ将棋を懸命に指しました。

その頃の棋界は、当時最年少棋士になった後の17世名人となる谷川名人がブイブイ活躍していた頃です。

あれから数十年たち、令和の天才、藤井壮太竜王名人が王座戦3勝1敗で永瀬王座よりタイトル奪取し、見事に史上初の八冠を達成しました。

故:米長永世棋聖著「人間における勝負の研究」の中で、「自分は消化試合、相手にとっては一番の時にこそ全力を尽くす」という哲学はその後の棋界の大きな教えとなりました。確率・勢い・運が勝負において大事と説きますが、藤井八冠は、ただただ無心に最善手を読みつくす事

だけを考え、勝ち負けには、こだわっていないのではないかと思います。昭和のドロドロした勝負の情念のようなものは感じられません。

ある棋士が言いました。通常の棋士は20~30手先まで読む事ができますが、藤井八冠はそこから先の33手先まで読み込んで、そこが他の棋士と圧倒的に違うところだと、脱帽していました。普通の棋士が読み捨てる筋を、可能性があるのではないかと常識を疑い、新たな可能性を探る旅を続けているのです。我々凡人・非常識・中高年・推進部は負けたら、しゃーない寝て忘れよと大食いし、翌日パワーと叫んで取り組むしか

能がありませんが、叫び続ける事は、諦めずに、進んでいきたい。ヤー~~~~